The Day Osaka 『施設利用約款』

〔適用範囲〕

- 第1条 当館が施設利用客との間で締結する施設利用契約及びこれに関連する契約はこの約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
2. 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

〔施設利用契約の申し込み〕

- 第2条 当館に施設利用契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。
- (1) 利用者名（団体名、代表者名、担当者名）
 - (2) 施設(会場)場所（ホール、会議室、その他室内会場、ホテル敷地内）
 - (3) 利用日及び利用時間、到着予定時刻
 - (4) その他当館が必要と認める事項
2. 申し込みについては、当館が提出を求めた場合に限り、指定の申込書類を提出し、受理された時点で申し込みが成立することとします。

〔施設利用契約の成立等〕

- 第3条 施設利用契約は、当館が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当館が承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 申し込み時に、申込書類を提出した場合には、同書類の予約承諾の返送があった時点で予約成立するものとし、
 3. 前項の規定により施設利用契約が成立したときは、利用料金を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。
 4. 申込金は、まず、利用客が最終的に支払うべき利用料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額あれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
 5. 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、契約はその効力を失うものとし、ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当館がその旨を利用客に告知した場合に限ります。

〔申込金の支払いを要しないこととする特約〕

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 施設利用契約の申し込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

〔契約締結の拒否〕

- 第5条 当館は次に掲げる場合において、施設利用契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 施設(会場)の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 施設(会場)が満室により会場提供ができないとき。
 - (3) 施設を利用しようとする者が、利用に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 施設を利用しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (5) 施設利用に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により施設を利用させることができないとき。

〔施設利用の契約解除権〕

第6条 施設利用客は当館に申し出て、契約を解除することができます。

2. 当館は施設利用客がその責めに帰すべき事由により施設利用契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に施設利用客が契約を解除したときを除きます。）は、別紙に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、施設利用客が契約を解除したときの違約金支払い義務について、当館が施設利用客に告知したときに限ります。
3. 当館は、施設利用客が連絡をしないで利用予約時間を2時間以上経過した時刻になっても到着しないときは、その契約は施設利用客により解除されたものとみなし処理することがあります。

〔当館の契約解除権〕

第7条 当館は次に掲げる場合においては、契約を解除することがあります。

- (1) 施設利用客が利用に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 施設利用客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 施設利用に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により施設を利用させることができないとき。
 - (5) 消防設備等に対するいたずら、その他当館が定める禁止事項に従わないとき
2. 当館が前項の規定に基づいて契約を解除したときは、施設利用客が未だ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

〔利用の登録〕

第8条 施設利用客は、利用当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 団体名、代表者名、担当者名、住所、電話番号及び職業。
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日。
 - (3) 出発日及び出発予定時刻。
 - (4) その他当館が必要と認める事項。
2. 施設利用客が第12条の料金の支払いを、通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示し、当館の了承を得るものとします。

〔施設の使用時間〕

第9条 施設利用客が当館を使用できる時間は、最大で8時から22時までとします。

2. 当館は前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の利用希望に応じることがあります。この場合は別途追加料金を申し受けます。

〔利用規則の遵守〕

第10条 施設利用客は当館内においては、当館が定める利用規則に従っていただきます。

〔営業時間〕

第11条 当館の主な施設の営業時間は次のとおりとし、その他の施設の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各所の掲示、客室内の表示等でご案内致します。

- (1) フロントサービス 7時～23時
- (2) レストラン 7時～10時／11時～15時／17時～21時
- (3) BBQ 11時～15時／17時～21時

2. 前項の時間は、やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

〔料金の支払い〕

- 第12条 施設利用客が支払うべき料金等の内訳は以下に別紙に掲げるところによります。
2. 前項の利用料の支払いは、通貨又は当館が認めたこれに代わり得る方法により、利用客の到着の際又は当館が請求したときに、フロントにおいて行っていただきます。
 3. 当館が施設利用客に施設(会場)を提供し、使用が可能になったのち、施設利用客が任意に利用しなかった場合においても、利用料金は申し受けます。

〔当館の責任〕

- 第13条 当館は施設利用約款及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により施設利用客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

〔契約した施設(会場)が提供できないときの取り扱い〕

- 第14条 当館は、施設利用客に提供した施設(会場)を提供できないときは、施設利用客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の施設(会場)を斡旋するものとします。
2. 当館は前項の規定にかかわらず他の施設(会場)が斡旋できないときは、違約金相当額の補償金を宿泊客に支払い、その補償金は損害賠償額に充当します。ただし、施設が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときには、補償料を支払いません。

〔寄託物等の取り扱い〕

- 第15条 施設利用客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館はその損害を賠償します。
2. 施設利用客が当館にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、その損害を賠償します。

〔施設利用客の手荷物又は携行品の保管〕

- 第16条 施設利用客の手荷物が利用に先だって当館に到着した場合は、その到着時に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、施設利用客がフロントにおいて到着・手続きの際にお渡しします。
2. 施設利用客が利用を終えて出発後に、施設利用客の手荷物又は携行品が当館に置き忘れられた場合において、当館は発見日を含めて7日間保管し、その後は当館の規定によって処分する場合がございます。
 3. 前々項及び前項の場合における当館の責任は、前条の規定に準じるものとします。

〔駐車場の責任〕

- 第17条 施設利用客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

〔施設利用客の責任〕

- 第18条 施設利用客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該利用客は当館に対して、その損害を賠償していただきます。